太宰府市公文書館は**開館10周年**を迎えました

問い合わせ　文書情報課　公文書館　☎(921)2322

公文書館の主な出来事

平成26(2014)年 2月　前身の太宰府市市史資料室が国士舘大学太宰府キャンパス跡地（現上下水道事業センター）へ移転
同年 4月　太宰府市公文書館開館、まほろば号の上下水道事業センター乗り入れも開始
平成27(2015)年 11月　初のパネル展「昭和の大合併―太宰府町と水城村の決断」と展示見学会を開催
平成28(2016)年 11月　全史料協全国（三重）大会研修会で、「太宰府市における行政文書の保存と公文書館の役割」と題して市の取り組みを報告
平成29(2017)年 8月　『広報だざいふ』連載「公文書館だより」で明治150年特集を開始
平成30(2018)年 11月　『太宰府市公文書館通信』vol.1を発行
令和元(2019)年 5月　パネル展「年号が改まること －新元号「令和」によせて－」を開催
令和2(2020)年 4月　コロナ禍で、初回の臨時休館
令和3(2021)年 10月　パネル展「開発と史跡保存 －大宰府史跡指定100年を迎えて－」の見学会を限定再開
令和4(2022)年 7月　市制施行40周年記念パネル展「令和の都太宰府ゆかりの人々～『太宰府人物志』から～」を開催
令和5(2023)年 10月　10周年プレイベント・パネル展「“まち”の記憶、“まち”の記録―公文書館資料展―」を開催

こんな業務をしています

・資料の収集・整理・保存・利用
・資料の情報提供
・資料の調査・研究・普及活動

パネル展開催のお知らせ

令和改元五年記念・太宰府市公文書館開館10周年記念

「平成から令和へ －公文書館の歩みを振り返る－」

公文書館の10年の歩みをその前史から振り返りつつ、公文書館の役割と仕事を紹介します。また、公文書から見える太宰府ならではの出来事を、写真と共にわかりやすく展示します。

開催予定　市内を巡回しますので、近くでぜひ見てみてください。

- 10月　1日(火)～18日(金)　太宰府市公文書館ロビー
- 10月21日(月)～11月1日(金)　市役所1階市民ギャラリー
- 12月17日(火)～26日(木)　文化ふれあい館1階エントランスホール
- 令和7年2月3日(月)～14日(金)　総合体育館（とびうめアリーナ）1階エントランス
- 令和7年3月3日(月)～24日(月)　太宰府館2階ギャラリー

公文書館で、私たちが待っています！

「百年後も誇りに思えるまち、太宰府」を掲げて、市民の皆さんの役に立つ公文書館を目指してきました。まちの歴史に関する質問や出前講座の申し込みも、お待ちしています。
毎月連載している「太宰府の文華」も執筆していますので、読んでみてください。

すぐそばに駐車場もあって、まほろば号は上下水道事業センターバス停が最寄りです。皆さんぜひ公文書館へ気軽に来てください！

太宰府の文華
～公文書館だより㉕～

公文書館のはなし

太宰府市公文書館が開館10周年を迎えました。といっても「公文書館？どこにあったっけ？」と首をかしげる人もいるでしょう。一般に図書館や博物館ほどおなじみの施設ではありませんが、公文書館はアーカイブズともいい、公文書館法には、歴史資料として重要な公文書や地域資料を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とすると定義されています。

アーカイブズの起源は、紀元前7世紀頃のアッシリア帝国の王立図書館とされています。ただ18世紀以前のアーカイブズは、国家や宗教団体、家などのコレクション的な性格が強く、公に開かれた施設ではありませんでした。そうしたなか1808年、フランス革命後に設置されたフランス国立中央文書館（ちゅうおうもんじょかん）は、公文書を国民の共有財産として保存し、閲覧公開していくという理念と仕組みを有する、世界初の近代的な公文書館といわれます。その後、世界各国で同様の公文書館が開館しました。

国内では、1959年開館の山口県文書館（やまぐちけんもんじょかん）が最も古く、国立公文書館は1971年に開館しました。以降各地に少しずつ増えていきますが、2000年代に入り、公文書の誤廃棄やずさんな管理などの問題が噴出し、2009年に「公文書等の管理に関する法律」が公布されると、その後15年の間に40を超える公文書館が開館しました。専門職であるアーキビストの認証制度も始まり、世間の認知度も徐々に高まっている状況です。現在、全国に公文書館の役割を持つ施設が、都道府県に45、政令市に11、市区町村に36設置されています。本市のように、公文書館を持つ市区町村は全国で2％にすぎませんが、地域の特色や歴史を活かした文書の保存や活用、きめ細かいレファレンス対応など、地域に根差した市区町村立公文書館ならではの強みもあります。

地域資料はもちろん、市政の記録である公文書は、フランスの例をあげるまでもなく、市民の貴重な共有財産です。それを守り、次の世代へつなげる努力を、太宰府市公文書館は続けています。

太宰府市公文書館　荻野（おぎの）　寛美（ひろみ）

【バックナンバーはこちら】ページID7241